

沿革

明治 6 年 11 月	向笠学校として新豊院に開校
明治 8 年	向笠竹之内 68 番地 定福寺を校舎として移転
明治 17 年 5 月	向笠竹之内に校舎新築
明治 18 年 7 月	友永小学校と合併 友永小学校分校と改称
明治 22 年	令の改正により向笠尋常小学校と改称
明治 38 年 3 月	向笠竹之内権現下 351 番地に移転
大正 12 年 4 月	南校舎 1 棟 4 教室 新築校舎竣工
昭和 8 年 4 月	新校舎 1 棟落成(後講堂に転用)
昭和 16 年 4 月	向笠国民学校と改称
昭和 18 年 3 月	校庭北西端の山を崩し校地を拡張
昭和 19 年 12 月	大地震により校舎傾斜 壁落下 井戸屋倒壊
昭和 22 年 4 月	向笠村立向笠小学校と改称
昭和 27 年 4 月	2 階 4 教室新築 旧校舎移転
昭和 31 年 4 月	向笠村 磐田市に合併 現在校名に改称
昭和 31 年 6 月	校舎西端の山を崩し校地拡張
昭和 31 年 10 月	明治 38 年建築の校舎を講堂東側に移築し、幼稚園舎に移転
昭和 32 年 3 月	2 階建て校舎の西に連結して、2 階 6 教室を増築
昭和 33 年 10 月	給食室を建築 完全給食実施
昭和 39 年 7 月	プール及び付属設備竣工
昭和 45 年 11 月	歯科優良校(県学校保健会)受賞
昭和 47 年 11 月	文部省より学校給食優良校表彰
昭和 48 年 11 月	磐田市教育委員会の指定を受け、3 校合同研究発表会を開催
昭和 48 年 12 月	体育館建設に伴い、講堂・西校舎・旧幼稚園舎を解体
昭和 49 年 3 月	屋内運動場竣工落成
昭和 51 年 11 月	向笠小学校創立 100 周年行事を開催
昭和 57 年 2 月	特別活動自主研究発表会を開催
昭和 58 年 3 月	消防クラブ県功賞
昭和 61 年 3 月	現校舎竣工
昭和 62 年 3 月	運動場周辺植樹
昭和 63 年 8 月	築山完成
平成 元年 4 月	屋内運動場屋根・外壁改修工事完了
平成 3 年 6 月	校服自由化実施
平成 4 年 10 月	権現山に校訓「せいじつ」のツツジ文字植樹
平成 6 年 1 月	学校環境緑化コンクール入選
平成 9 年 8 月	磐田市教育委員会指定研究発表会
平成 9 年 10 月	健康優良推進学校(中規模の部)
平成 10 年 1 月	パソコン 20 台設置
平成 12 年 3 月	トンボの池完成
平成 12 年 9 月	健康教育推進校優良賞受賞
平成 12 年 9 月	保健室エアコン設置視聴覚室 P C 移動 照明増設
平成 12 年 9 月	A C M 警備システム設置 体育館普通教室蛍光灯増設

平成 14 年 8 月	ピアノづくりを進める
平成 14 年 8 月	各教室にパソコン 2 台設置
平成 14 年 9 月	三輪文庫完成
平成 15 年 2 月	磐田市植樹祭
平成 15 年 8 月	トンボ広場にピアノ・完成校長室・事務室・相談室・職員室にエアコン設置
平成 15 年 9 月	パソコン室使用開始
平成 16 年 2 月	全国学校ピアノコンクールにおいて奨励賞を受賞
平成 16 年 9 月	校庭の芝生化完成を祝い、記念イベントを行う
平成 16 年 11 月	きれいな学校賞
平成 17 年 11 月	静岡県移動教育委員会開催
平成 18 年 2 月	全国学校ピアノコンクール 最高位「環境大臣賞」受賞
平成 18 年 3 月	消防長官賞受賞
平成 18 年 4 月	磐田市民賞受賞
平成 20 年 2 月	体育館耐震工事
平成 22 年 8 月	丸太ベンチ設置・ピアノ・トンボ広場改修
平成 23 年 5 月	野生生物保護功労 文部科学大臣奨励賞
平成 23 年 7 月	静岡教弘教育活動奨励賞
平成 23 年 11 月	ペンチ新設ピアノのベンチ補修
平成 24 年 1 月	ローソン「水と緑の森林基金」により花壇整備
平成 24 年 2 月	ピアノコンクール日本生態系協会賞
平成 24 年 10 月	権現山階段改修
平成 25 年 2 月	とんぼランド水槽・池清掃
平成 25 年 7 月	キッズ自然ランド歩道整備
平成 26 年 2 月	ピアノコンクール日本生態系協会賞
平成 26 年 4 月	向陽学府小中一貫教育本格実施(H25 試行)
平成 28 年 2 月	県 P T A 団体賞受賞
平成 28 年 3 月	投てき板改修
平成 29 年 9 月	P T A 新聞「夢花咲キッズ」中日新聞企画賞
平成 29 年 11 月	中日新聞 P T A 新聞作品展 企画賞受賞
平成 30 年 7 月	投てき板撤去
令和 2 年 2 月	普通教室エアコン設置
令和 2 年 12 月	GIGA スクール構想タブレット設置
令和 3 年 1 月	すべり台撤去
令和 3 年 4 月 8 日	丸太遊具設置(卒業記念)
令和 3 年 4 月 8 日	GIGA スクール構想一人一台学習用端末全校児童配付完了
令和 4 年 1 月	権現山ピアノ(西)周辺改修
令和 4 年 3 月	向笠小開校行事検討委員会発足
令和 4 年 3 月	理科室、音楽室 I T 設置
令和 4 年 3 月	体育館西側屋外時計故障のため撤去

学校経営について

(1) 学校経営の基本方針

- 教職員一人一人が知恵を出し合い、様々な視点で全校児童の育成を図り、全校の児童と教職員が一体感を感じられる学校の創造を目指す。
- 家庭・学校・地域・関係機関が連携を図り、協働的に教育活動を推進することで、「チーム向笠」を実現し、学校教育目標の具現を図る。
- 幼小接続、小小連携、小中接続を積極的に行い、幼小中一貫した教育を進める。

(2) 学校経営の重点

本校は、児童の指導に関わる指導部を「学びづくり部」と「仲間づくり部」(徳育、体育含む)の2部構成とした。また、施設管理などを行う「管理部」更には、一貫教育推進に向けた関係校との連携、地域・家庭・関係機関との連携を推進するための「連携部」、の4部構成となっている。

①学びづくり部〈進んで学びに向かう力の育成〉

- ・児童一人一人の学びを大切に授業の推進
- ・自分の思いや考えをまとめ表現できる子の育成
- ・ICT 機器利用による効率的な学びの実現

②仲間づくり部〈高めあう力の育成〉

- ・ファミリー活動の推進(縦割り集団)
- ・全校児童のかがやきが発揮できる行事の創造(子ども主体の行事運営)
- ・学級担任と特別支援コーディネーターの連携による個に応じた指導・支援の充実

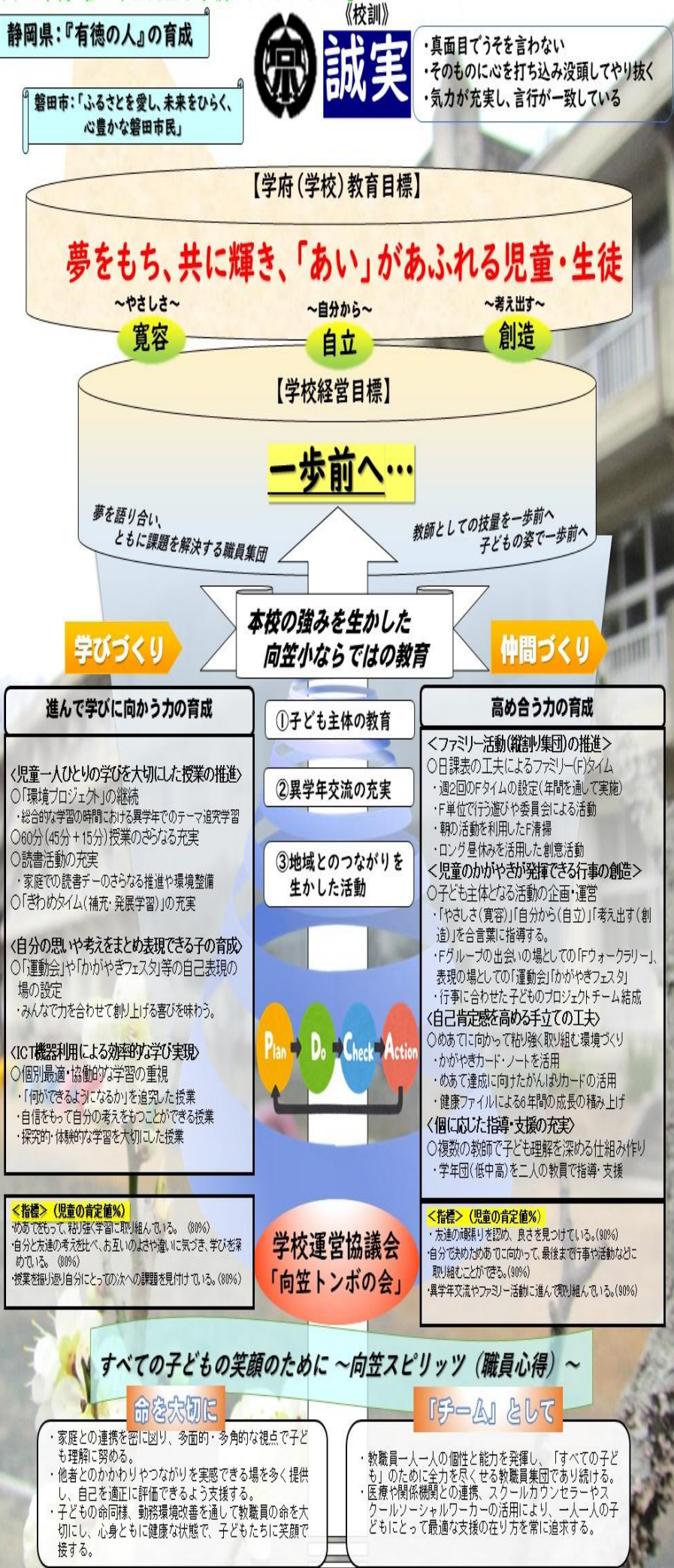
③管理部〈児童が活動しやすく、教師が働きやすい環境の整備〉

- ・児童が活動しやすい環境の整備
- ・教職員の働き方改革推進に向けた環境整備

④連携部〈農を柱とした地域連携の推進と学府一貫教育の具現に向けた取組〉

- ・地域の特色である「農」を中心に地域教育人材を積極的に招き、地域との絆を深める。
- ・学府一貫教育ロードマップに従い、幼小接続、小中接続、小小連携を進める。

グランドデザイン



日課表

日 課						特別日課	
	月	火	水	木	金		
	8:15までに準備						
8:15 8:25	朝 の 会						
	8:30 E-time モジュール学習	F清掃	8:30 E-time モジュール学習	F清掃	8:30 E-time モジュール学習	給食までは通常日課と同様	
8:45							
8:45	1	1・2年生：E-time(英語)15分間 3～6年生：モジュールを活用した60分授業 子どもも教師も一つのことによりじっくり取り組める環境をつくる。					
9:30							
9:40	2	ファミリータイム（Fタイム） 異学年で遊んだり行事に向けて話し合ったり、本の紹介をしたり読み聞かせをしたりするなど、多様な活動を行う。					
10:25							
10:35	3						
11:20							
11:30	4						
12:15							
13:00	給 食						
13:25	昼 休 み						13:25 授業開始
13:40	会礼 読書等	Fタイム	学級タイム	Fタイム	ロング 昼休み		5
13:45	「きわめタイム」（補充・発展的な学習：希望者） 理解がゆっくりな子どもには、個別で学習する環境を用意し、授業だけでは物足りないと感じている子どもには、さらなる発展的な学習の場を設け、学習意欲を高める。					0 授業終了	
14:30						帰りの会等	帰りの会等
14:40	15:00	・委員会 ・クラブ ・きわめタイム	15:00 打合せ			※4時間の場合 13:25～13:35 帰りの会 13:45 完全下校	
14:45	会議/研推		会議				
15:30	15:30	15:30					
16:00	16:00 会議/研推 ・教材研究等	16:00 教材研究等	16:00 会議	16:00 学年部会 教材研究等	16:00 学年部会 教材研究等		



年間授業日数等

	1学期	2学期	3学期
始業日	4月7日(木)	8月29日(月)	1月6日(金)
終業日	7月22日(金)	12月23日(金)	3月17日(金)
授業日数	72日	80日	49日
年間計	201日	入学式4月7日 修了式3月16日	卒業式3月17日

児童数

学級名	児童数			家庭数	担任氏名
	男子	女子	計		
1年1組	8	18	26	13	古川 瑞波
2年1組	14	8	22	12	大橋奈津江
3年1組	9	13	22	16	坂田 弦生
4年1組	12	17	29	20	根本 知子
5年1組	10	13	23	20	山下千津子
6年1組	13	13	26	26	牧田 大瑠
竹の子1組	2	2	4	4	寺田 茜
竹の子2組	1	0	1	0	戸塚 貴久
合計	69	84	153	111	

教職員一覧

県費教職員(15名): 校長・教頭・教諭・養教・事務・県費非常勤(1名) ※育児者含む

市費教職員(8名): 事務・用務員・給食・支援員

	県市	職名	氏名	担当
1	県	校長	戸倉 剛志	
2	県	教頭	牧野里江子	
3	県	教諭	戸塚 貴久	生徒指導主任 PTA 安全指導(交通安全) 食農
4	県	教諭	大橋奈津江	学年部長(1,2,3年) 教科指導 道徳推進教師 図書館教育
5	県	教諭	磯部 恭史	教務主任 学府小中一貫教育 CO
6	県	教諭	寺田 茜	特別支援 CO 給食 防災・防犯 クラブ
7	県	教諭	坂田 弦生	学びづくり部部長 研修主任 茶の間読書
8	県	教諭	牧田 大瑠	仲間づくり部部長 特活主任(F活動、児童会、委員会、学活、ｷｬﾝﾌﾟ) 体育主任
9	県	教諭	古川 瑞波	情報教育 外国語 研究推進委員
10	県	教諭	町田 智尋	※育児中
11	県	教諭(任)	根本 知子	人権・福祉 教科書事務 清掃活動 睦会
12	県	教諭(臨)	山下千津子	学年部長(4,5,6年、特支) 環境教育 出席簿
13	県	養護教諭	山本 優	※育児中
14	県	養護教諭(任)	日下部洋子	保健室経営 保健主事 SC・SSW
15	県	主事	山下奈緒子	事務主任
16	県	小規模校支援	小柳津尚昌	週10時間(理科)
17	市	事務	高木さや香	施設・設備、物品、経理
18	市	用務員	白井 幹廣	用務
19	市	副主任調理士	中川智亜紀	給食室管理全般、調理業務
20	市	調理員	青木 佐予	調理業務、物品検収、給食日誌
21	市	調理員	馬淵 香理	調理業務
22	市	調理員	松下 友代	調理業務
23	市	教育支援員	松本 泰子	教育支援(7時間)
24	市	教育支援員	高橋 信子	教育支援(4時間)

GSD: 今水志保 ALT: スペンサー ディック 図書支援員: 寺田公子 SC: 矢野 智 SSW: 樽林朋哉

勤務環境改善

ワークライフバランスを意識した職場環境の整備

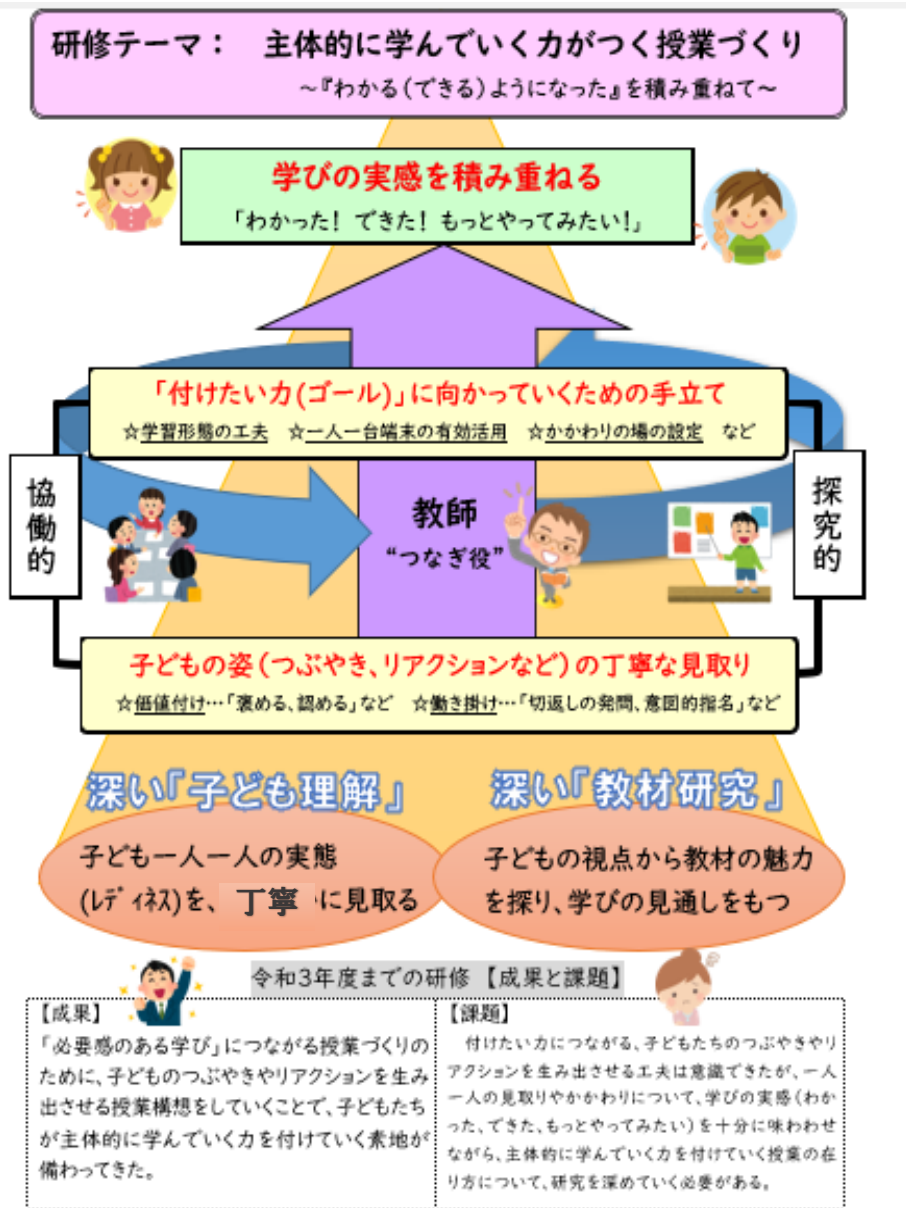
〇不祥事根絶

- ・校内相談体制(学年2人)を確立し、問題を一人で抱え込まない体制を構築する。
- ・子どもを中心に据え、「一歩前へ」を合言葉に、「報告・連絡・相談」を徹底し、危機管理意識を醸成する。

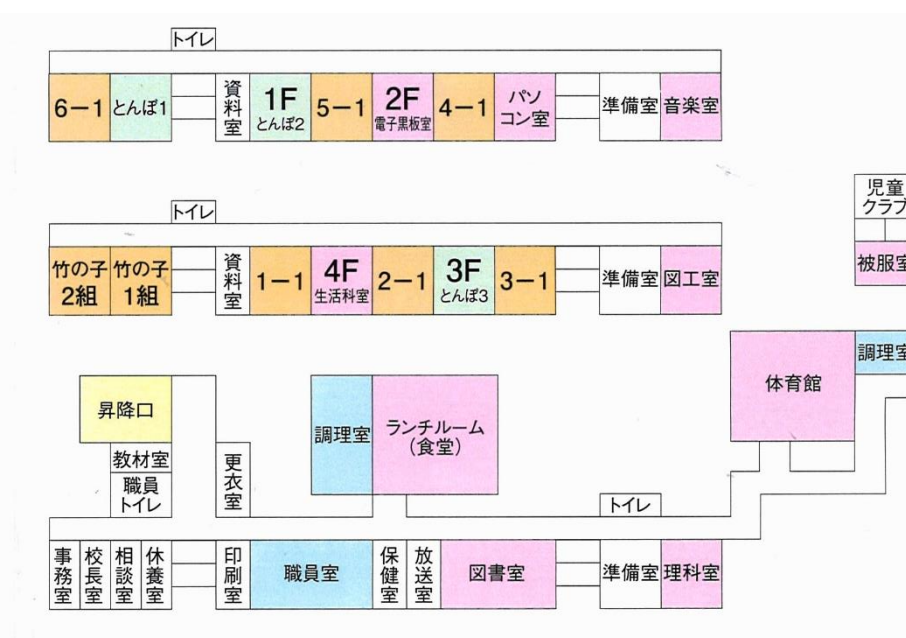
〇働き方改革

- ・会議の精選と退勤時間の適正管理。
- ・分掌などの業務見直しと「チーム向笠」による分掌業務シェアリング

研修構想図



教室配置図



令和4年度



学校経営書

校訓

誠実



向笠小学校校歌

根鈴 浦蔵 作詞
中島 静 作曲

- 権現山の 朝風に
日の丸の旗 ひるがえる
清く明るい 学び舎は
歴史もふるく ああ向笠
誠実をほこる 小学校
- 東に富士の 峰あおぎ
山なみ遠く かこまれて
高くそびえる 学び舎は
黒いひとみに ああ向笠
希望かがやく 小学校
- 昔をしのぶ 城のあと
はるかにのぞむ 丘の上
かわらぬ愛の 学び舎は
みんなの力で ああ向笠
幸福きずく 小学校

磐田市立向笠小学校

〒438-0013

静岡県磐田市向笠竹之内391番地6

電話<0538>38-0390/FAX 38-3635

E-mail: mukasa-e@city-iwata.ed.jp

ホームページ

